



8日目—誠実

ヘブライ人への手紙 11：1—11

執り成しの祈りのヒント

神の命じられることはすべて、神ご自身が実現なさることを覚えましょう。
ほかの約束についても同じように祈り求めましょう。

- ▶ 神の誠実と赦しのゆえに神を賛美しましょう。
「自分の罪を公に告白するなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます」(Iヨハネ1：9)
- ▶ 信仰の賜物を与えてくださる神を賛美しましょう。
「事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは自らの力によるのではなく、神の賜物です」(エフェソ2：8)
- ▶ 不誠実なわたしたちにさえ、変わることなく誠実であられる神を賛美しましょう。
「わたしたちが誠実でなくても、キリストは常に真実であられる」(IIテモテ2：13)
- ▶ わたしたちの誠実さに応えてくださる神を賛美しましょう。
「忠実な人は多くの祝福を受ける」(箴言28：20a)
- ▶ 小事に忠実な者へと変えていただけるよう、神に祈りましょう。忠実であるために学ぶべきことは、どんなに小さなことでも神に教えてもらいましょう。
「ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さな事に不忠実な者は、大きな事にも不忠実である」(ルカ16：10)
- ▶ 神に信仰を求め、信じる心を与えてもらえるよう祈りましょう。
「イエスは言われた。『「できれば」と言うか。信じる者には何でもできる』」(マルコ9：23)
「主は言われた。『もしあなたがたにからし種一粒ほどの信仰があれば、この桑の木に、「抜け出して海に根を下ろせ」と言っても、言うことを聞くであろう』」(ルカ17：6)

- 見えるものによらず、信仰によって歩けるよう祈りましょう。見えるものではなく、信仰によって歩かなければならない特別な事情のために祈りましょう。
「目に見えるものによらず、信仰によって歩んでいるからです」(Ⅱコリント5：7)
- 人の知恵ではなく、神の力を信頼するよう祈りましょう。
「それは、あなたがたが人の知恵によってではなく、神の力によって信じるようになるためでした」(Ⅰコリント2：5)
- 神があなたの信仰を増し加えてくださるよう祈りましょう。
「使徒たちが、『わたしどもの信仰を増してください』と言ったとき」(ルカ17：5)
- 神が牧師にあふれるばかりの信仰を与えてくださるよう、牧師のために祈りましょう。
「信じて祈るならば、求めるものは何でも得られる」(マタイ21：22)
- 世界中のすべての教会の指導者が、真実な霊性と宣教のビジョンを強く持つことができるよう祈りましょう。牧師と教会員が、終わりの時代における、残りの教会としてのアイデンティティを見失うことなく、守られるよう、祈り求めましょう。
「しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある業を、あなたがたが広く伝えるためなのです。あなたがたは、『かつては神の民ではなかったが、今は神の民であり、憐れみを受けなかったが、今は憐れみを受けている』のです」
(Ⅰペトロ2：9—10)
- 福音文書がすべての教会員によってますます用いられ、出版物によって、文書伝道の重要性が増し加えられるよう祈りましょう。
「つまり、こういうことです。惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです」(Ⅱコリント9：6)
- 都市伝道のために
南アジア太平洋支部と、その宣教対象都市のために祈りましょう。
マニラ (フィリピン)、ダッカ (バングラデシュ)、セブ (フィリピン)、マカッサル (インドネシア)、ヤンゴン (ミャンマー)、ウルダネタ (フィリピン)、カラチ (パキスタン)、コタ (マレーシア)、キナバル (マレーシア)、ダバオ (フィリピン)、メダン (インドネシア)
働き人が聖霊に満たされ、強められるように祈りましょう。
「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる」
(使徒言行録1：8)

- ▶ 個人的な必要など、心のうちにあることについて祈りましょう。
「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる」(マタイ7:7)
- ▶ 誠実に祈りを聞き、応えてくださる神を賛美しましょう。神のみ業のゆえに神を賛美しましょう。
「信じて祈るならば、求めるものは何でも得られる」(マタイ21:22)

祈りの時間の終わりに、祈りのリストにある7人のために、2～3人のグループで祈りましょう。彼らの信仰が増し加えられるよう祈りましょう。彼らのために、ヘブライ11章6節を心に留めましょう。「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神が存在しておられること、また、神は御自分を求める者たちに報いてくださる方であることを、信じていなければならないからです」。もし、大人数で共有することがためられる祈りの課題があれば、パートナーにそれを打ち明け、祈り合いましょう。

- | | | |
|------------|-------------------|----------------|
| 讚美歌 | 「主と主の言葉に」 | (希望の讚美歌 330 番) |
| | 「さかえの王にます主の」 | (聖歌 456 番) |
| | 「イエス君のみ名にまさる名はなし」 | (日基讚美歌 168 番) |
| | 「行くみちに」 | (希望の讚美歌 320 番) |

信仰と誠実に関するエレン・G・ホワイトの言葉

「霊の結ぶ実は…誠実…です」(ガラテヤ5:22)

「キリストの再臨に備えて、信仰を訓練する必要があります。日々の生活の中にキリストを招き入れましょう。キリストを招き入れるとき、喜びと平安が与えられ、その経験の中で、神のみ言葉の意味を知るのです。『わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる』(ヨハネ15:10)。わたしたちの信仰は、イエスの愛の内にとどまるという約束を証しするものでなければなりません。イエスはこのようにおっしゃっています。『これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内に入り、あなたがたの喜びが満たされるためである』(11節)。

信仰は、愛によって働き、魂を清めます。信仰によって、聖霊は心のつながりを見出し、わたしたちの心に清さを造り出すのです。わたしたちは、聖霊を通して神と交わることなく、キリストの働きを行うことはできません。神によって品性を変えられることにより、天国にふさわしい者となることができます。天の父と結びつくためには、キリストの義を持たなければなりません。世にある欲望による滅びから逃れて、神のご性質にあずかるよう、招かれているのです。聖霊の感化力を受けて、日毎に変革していただきましょう。それは、キリストの素晴らしいご品性をわたしたちのうちに形づくっていただくことであり、品性を高尚にし、心を清め、全人格を

回復してくださる聖霊のお働きなのです」(*Ye Shall Receive Power*, p.77)

「人生の行為はすべて、たとえどんな小さなことにおいても、善か悪へと実を結びます。小事に忠実な者は祝福を得、小事に不忠実な者は祝福を逃すのです。これらは品性を試みる小さな事柄の連続です。神に喜ばれる行いは、快活で、自発的な、謙遜さをともなう行いです。わたしたちは自分のためだけではなく、隣人のために生きています。自分のことを忘れ、隣人を愛し、大切にし、助けることによって、わたしたちの人生は祝福されたものとなるのです。ほんの小さな思いやり、ほんの小さな親切心に満ちた行為が人生を幸せに満ちたものとし、そのような思いやりや親切心をもたないことは、重荷をわかちあう者となりえないのです」

(*Conflict and Courage*, p.52)

「わたしたちが、この仕事を忠実にするか否かに、他の人びとの幸福ばかりでなくて、わたしたち自身の永遠の運命がかかっている。キリストは、すべて向上することを望む者を高めて、ご自分との交わりに入れようとしておられる。これは、キリストが父と一つであられるように、わたしたちをキリストと一つにするためである。わたしたちを利己主義から救い出すために、苦難や災難に会うことをお許しになる。神は、わたしたちのうちに、神の品性の特徴である同情とやさしさと愛をはぐくもうと望んでおられる。この奉仕の仕事を受け入れることによって、わたしたちは、キリストの学校に入り、神の宮廷にふさわしい者とされる」

(『キリストの実物教訓』 366 ページ)

「見られている時だけ仕事を果たす人たちは、それらの働きが他の人や天使の監視に耐えられるものではないことに気がつくでしょう。与えられた働きを成功させるためには、キリストを知らなくてはなりません。キリストを知ることによって、義の本質が教えられ、高潔さ、また、救い主が喜び仕えられたような自己犠牲の心が与えられるのです。台所でも、作業場でも、出版所でも、病院でも、大学でも、たとえ、どの主のぶどう園に置かれても、誠実さ、儉約、管理、熟練が、わたしたちのすべての働きの特徴とならなければなりません。『ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さな事に不忠実な者は、大きな事にも不忠実である』(ルカ 16 : 10)」(*Review and Herald*, Sept. 22. 1891)

「キリストを見つめ、眺めることで変えられていきましょう。主のみもとへ行きましょう。そこでは、尽きることのない泉が開かれ、そこから湧き出る命の水を飲み続け、たえず新しい賜物を見いだせるのです。主の愛に引き寄せられて応答し、天から降る命のパンによって支えられ、神のみ座から流れ出る命の水をいただきましょう。絶えず主を仰ぎ見ましょう。わたしたちは信仰によって神のみ座と結びつけていただけるのです。まるで地面に縛り付けつけられてしまったかのように、うつむいてはなりません。花が根づいたことを確認するかのように自分の信仰を試み続けてはなりません。信仰はゆっくりと成長していくのです」(*Ye Shall Receive Power*, p.77)

個人的考察のための質問

1. もっとも困難な状況においても神をお信じになりますか。あなたの信仰が増し加えられるよう神に求めましょう。神の約束を願い求めましょう。
2. あなたの信仰を強めるためにできることをリストにしてみましょう。それらをあなたの生活に適用する方法を教えてください、神に求めましょう。